2020年度春季シンポジウム「低炭素社会の実現に向けて」

～**「国連のSDGs推進と課題」**～(オンデマンド配信)

2015年9月の国連総会において、2030年に向けて世界が目指すべき「持続可能な開発目標（SDGs）」が採択されました。その目標を見てみると①貧困を無くする、②飢餓をゼロにする、③すべての人に健康と福祉を、④質の高い教育を皆に、など17の目標が掲げられています。

これらの目標に向けてみんなで取り組めば、平和で豊かな社会の実現が期待されます。しかし豊かさのツケとして大量の廃棄物発生が予測されます。これからは廃棄物を「不要なもの」から「資源やエネルギー」として活用する社会へと転換する必要があります。そのような意味で、国連のSDGsの推進のために私たちが取り組むべきこととその課題について学ぶ場を提供します。

**【新型コロナ対応について】昨今の新型コロナ感染症の流行拡大の状況を考慮して、**

**今回のシンポジウムを6月24日（水）に無観客開催し、７月１日（水）からオン・デマンド配信サービスを提供いたします。**

**事前登録された方は、7月１日から7月31日まで何時でも、何処からでも何回でも視聴が出来ます。資料のダウンロードも出来ます。**

1. **視聴期間： 2020（令和2）年７月１日（水）から7月３１日（金）**
2. **定員：２００名**

**3. Webオンデマンド視聴の事前登録締切：６月３０日(火)**

**※同時視聴の制限から、定員になり次第受付終了**

4. 主　催： ㈱廃棄物工学研究所

5. 後援：環境省

6. 協賛：(公財)廃棄物・3R研究財団、(公財)産業廃棄物処理事業振興財団

7. 協力：(一社)日本ガス協会、(一財)日本環境衛生センター、 (公社)全国産業資源循環連合会、(公財)日本産業廃棄物処理振興センター、(一社)プラスチック循環利用協会、(一社)日本環境衛生施設工業会, (一社)環境衛生施設維持管理業協会、(一社)廃棄物資源循環学会、(公社)全国都市清掃会議、(一社)日本産業機械工業会、(一社)持続可能社会推進コンサルタント協会、(一社)廃棄物処理施設技術管理協会、ごみ焼却余熱有効利用促進市町村等連絡協議会、有害・医療廃棄物研究会、産業廃棄物処理業経営塾OB会、フォーラム環境塾・NPO法人都市環境フォーラム

8. 事前登録費：上記協力団体の会員：5,000円、非会員：10,000円、自治体職員：4,000円、学生：2,000円

9. プログラム

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時　間 | 講　演　内　容 | 講　演　者 |
| 14:00～14:15 | 開会：オープニング・スピーチ | （株）廃棄物工学研究所代表岡山大学名誉教授　田中 勝 |
| 14:15～14:45 | 基調講演：廃棄物処理対策と国連SDGsに関連した国の重点施策について | 環境省　環境再生・資源循環局廃棄物適正処理推進課・課長 名倉良雄　氏 |
| 14:45～15:10 | 地方行政解説：熊本市のごみ焼却施設を核にした地域総合エネルギー事業 | 熊本市 環境局 環境推進部 環境政策課・課長（令和2年3月現在）桝田 一郎　氏 |
| 15:10～15:20 | 休憩 |  |
| 15:20～15:50 | 特別講演「SDGsと廃棄物処理」 | TMI総合法律事務所国連大学SDG企業戦略フォーラム事務局長　弁護士　北島隆次氏 |
| 15:50～16:15 | 廃棄物発電施設の国際展開への取組と課題 | (一社)日本環境衛生施設工業会技術委員会委員長 増田孝弘 氏 |
| 16:15～17:00 | 世界の廃棄物発生量の推計と予測（2020年版） | （株）廃遺物工学研究所岡山大学名誉教授：田中 勝 |

10. 振込み先：りそな銀行　芝支店（普）１４９０７６８　ｶ)ﾊｲｷﾌﾞﾂｺｳｶﾞｸｹﾝｷｭｳｼｮ

**お問合せ先・お申し込み先：運営事務局　㈱廃棄物工学研究所（担当：江口）**

**事前登録のお申し込みは、今回視聴のためのＵＲＬをメールにてお送り**

**させていただく都合上、メール添付にてお送りください。**

**info@riswme.co.jp**